

障害児スポーツ大会のネット中継

- ストリーミングやアルバムを利用して -

発表者：大阪養護学校スポーツ大会実行委員会

(大阪養護教育コンピュータ研究会)

丹羽 登

ホームページ：<http://maido.ceser.hyogo-u.ac.jp/~sports/>

1. スポーツ大会のネット中継のねらい

本会では、大阪の養護学校間のスポーツ大会を実施してきた。その中で1999年度と2000年度にはmaidoプロジェクト（障害児のネットワーク活用研究会主催）の一環として、大阪の養護学校サッカー大会の途中経過などを掲示板などを利用して行った。インターネットを通して、このようなメジャーではないスポーツ大会が、世界中で見ることが可能になってきた。そこで、このような地域密着型の障害児スポーツの中継という新しい企画を通して、スポーツ大会に参加した選手、そしてストリーミング配信に協力した生徒達が自信をもって続けていけるものにしていくことにした。

また、教員を中心としたスタッフの充実を図るために、これらの研修会を開催し、技術の獲得と各学校でのネット中継を行っていく上での課題等を明確にする。

2. 実施内容

本企画は、大会実行関係を「大阪養護学校スポーツ大会実行委員会」が行い。ネット中継は「大阪養護教育コンピュータ研究会」が中心となって実行した。また学校での生徒指導については、大阪府立茨木養護学校の丹羽登が担当者として実施し、その校内体制の整備については、茨木養護学校情報教育推進委員会のメンバーが中心となって行った。

主な活動内容としては、下記の通りである。

ビデオや写真等についての、肖像権や個人情報の保護の観点から検討する

デジカメ&無線LANを使用するの撮影等について教員研修を実施する

ストリーミングの教員研修の実施

Webページ作りの生徒への指導

ストリーミングの生徒への指導

養護学校サッカー大会でのストリーミング配信と写真の配信

「大阪養護学校スポーツ大会実行委員会」主催の大会には、「養護学校バスケットボール大会」と「養護学校サッカー大会」がある。バスケットボール大会は写真配信と編集後にオンデマンドストリーミング配信を行った。

今回のメインであるライブ配信については、2月10・11日の両日に行われるサッカー大会で実施した。ライブ中継の配信については回線の速度の関係やパソコンの処理能力の関係から64Kの速さでの配信とするが、編集後のオンデマンド配信については、ADSL等のブロードバンドの普及に伴い、300K程度の速さについても配信する。



3. 実施日等

7月20日 大阪養護学校バスケットボール大会開催

2月10日 大阪養護学校サッカー大会（OBの部）

2月11日 大阪養護学校サッカー大会（現役の部）

4. 生徒への指導（大阪府立茨木養護学校）

学校内において週2時間、教科「情報処理」の時間にWebページの作成を9月より実施する。タグの付け方、それ

E スクエア・プロジェクト成果発表会

らの意味など基礎的な部分を中心に行う。

9月12日より、大阪府教育委員会、社会福祉法人「プロップステーション(<http://www.prop.or.jp/>)」、商工労働部雇用推進室対策課、大阪府健康福祉部障害保健福祉室就労支援課などと一緒に「情報チャレンジドコース」モデル事業を実施し、「プロップステーション」で就労に結びつためのWeb作り、イラスト作りについて、「プロップステーション」にて授業を行う。1日4時間、実施回数は13回。

11月に学校での学習成果をまとめて、テレビ大阪主催のホームページ甲子園(<http://www.tv-osaka.co.jp/hp-koshien/>)に参加し、「テレビ大阪賞(2位)」を受賞した。

5. まとめ

ネット配信を行う上で大きな課題は、個人情報の保護をどう守ることが出来るかという点であった。Webページを見た保護者や親戚から、写真やビデオの画面が小さいため、「誰か分からないので大きくして欲しい」という要望がある。しかしネット配信する上で、個人情報の課題をクリアしなければならない。障害児の場合は特に配慮しなければならないため、人を特定できるような写真やビデオを配信するページについてはアクセス出来る人を限定したページにするなどの措置を施す必要があるだろう。